

令和元年度 活動計画

活動目標

1. 看護師職能の活動を通して、公衆衛生の向上と県民の健康保持・増進に寄与する
2. 病院看護師の役割の明確化と資質の向上を図ると共に働きやすい環境づくりを支援する

<公益目的事業>

活動内容

1. 医療福祉における看護師の資質向上のための研修会等の企画・実施
2. 看護職の交流を通して情報交換し、看護職の活性化を図る

活動計画

1. 定例会：年 11 回
2. 研修会：年 2 回 延定員 200 名
3. 調査研究：実態調査報告（職能集会）・研究発表（神奈川県看護学会）

<会員支援事業>

活動内容

1. 平成 30 年度事業報告、令和元年度事業計画の説明

活動計画

1. 職能集会・講演会：年 1 回 定員 300 名

公益目的事業（研修会）

項 目	内 容	開催日	場 所	募集人数
研 修 会	テーマ：（仮）「臨床で起こる諸問題から患者の意思決定支援を考える」 講師：荻野 美恵子氏（国際医療福祉大学 医学部医学教育統括センター教授）	R1. 12. 21 （土）	神奈川県 看護協会	100 名
	保健師職能合同研修 テーマ：（仮）「病気や障害を持ちながら地域で暮らす人々を支える仕組みを考える」 講師：足立原 崇氏（神奈川県健康医療局 保健医療部 医療課 長）	R2. 1. 30（木）	同上	100 名

会員支援事業

項 目	内 容	開催日	場 所	募集人数
職能集会	平成 30 年度事業報告 令和 元年度事業計画 実態調査結果報告	R1. 7. 11 （木）	神奈川県 看護協会	300 名
講演会	テーマ：これからのチーム医療「連携」から「統合」へ ～現場の私たちがすべきこと～ 講師：坂本 すが氏（東京医療保健大学/大学院 副学長）			

令和元年度 活動報告

I 活動目標

- 1 看護師職能の活動を通して、公衆衛生の向上と県民の健康保持・増進に寄与する。
- 2 病院看護師の役割の明確化と資質の向上を図ると共に働きやすい環境づくりを支援する。

II 公益目的事業

1 活動内容

- 1) 医療・福祉における看護師の資質向上のための研修会等の企画・実施。
- 2) 看護職の交流を通して情報交換し、看護職の活性化を図る。

2 活動の実績

項 目	内 容	開 催 日	場 所	参加者数
定 例 会	1) 事業の企画・実施・評価 2) 実態調査まとめ	全 10 回 ＋臨時 1 回	神奈川県看護協会	11 名
研 修 会	「臨床で起きる諸問題から 患者の意思決定支援を考える」 講師：国際医療福祉大学 医学部 医学教育統括センター 教授 荻野 美恵子	R1. 12. 21(土)	同 上	83 名
	「地域包括ケアシステムと看護職 ～住み慣れた地域で安心して暮らせる 仕組みを様々な目線で考える～」 講師：神奈川県保健医療局 保健医療部 医療課長 足立原 崇	R2. 1. 30(木)	同 上	91 名

III 会員支援事業

1 活動内容

- 1) 平成 30 年度事業報告、令和元年度事業計画の説明

2 活動の実績

項 目	内 容	開 催 日	場 所	参加者数
職能集会 講 演 会	平成30年度看護師職能委員会 I 活動報告 令和元年度看護師職能委員会 I 活動計画 講演会 「これからのチーム医療「連携」から「統合」へ ～現場の私たちがすべきこと～」 講師：東京医療保健大学 副学長 坂本 すが	R1. 7. 11(木)	神奈川県看護協会	284 名

看護師職能委員会 I 研修（講演会）実施報告

研修（講演会）テーマ	これからのチーム医療「連携」から「統合」へ ～現場の私たちがすべきこと～		
主 催	看護師職能委員会 I		
講 師	坂本 すが氏（東京医療保健大学 副学長、日本看護協会 前会長）		
開 催 日 時	令和元年 7 月 11 日（木）14：00～16：00		
目 的	患者にとっての最善を目指すチーム医療実践に向けて「現場の看護師がすべきことは何か」について考える。		
内 容	講演		
場 所	神奈川県総合医療会館 7 階講堂		
参 加 対 象	看護職	参 加 人 数	284 名 (会員 253 名・非会員 31 名)
まとめ・評価	1. アンケート回収 260 枚 回収率 91.5% 1) 会員 225 名 2) 非会員 31 名 2. 職種 1) 看護師 248 名 2) 准看護師 0 名 3) 介護福祉士 0 名 4) 介護士 9 名 5) 看護補助者 0 名 6) その他 2 名（精神保健福祉士 1 名） 3. 研修会を知ったきっかけ 1) 看護協会からの案内チラシ 199 名 2) 看護協会ホームページ 10 名 3) 友人、知人からの情報 10 名 4) その他 31 名（部長 1 名、上司 13 名、院内の案内 4 名、院内スタッフ 1 名からの情報） 4. 参加動機 1) 自らすすんで 160 名 2) 上司の勧め 92 名 3) 同僚の勧め 5 名 4) その他 1 名 5. 感想 1) 非常に良かった 190 名 2) 良かった 50 名 3) 普通 5 名 4) やや期待はずれ 8 名 5) 期待外れ 0 名 無回答 7 名 6. アンケート内容 ・看護師という職業の良さを思い出せた気がします。辛いことが多く辞めたい気持ち持ちは加速している今、このお話が出来て本当に良かったです。 ・看護師として今後どうしていくか悩んでいる時期にこの講演に出会えて自分の進みたい道が見えた気がします。 ・自分が何をしたいかビジョンをもう一度見直し考えていきたいと思いました。他職種と連携して在宅に向けて自分ができることをしていきたいです。 ・「チーム医療」坂本先生の講義の中でのエピソードや資料には書いてない一言一言がとても勉強になりました。今の自分の働きを見直す必要があると心より感じました。 7. 評価 参加人数が 284 名となる注目度の高い講演会となった。アンケート結果からも「非常に良かった」「良かった」が 92.3%と、期待に応える講演会となった。内容については、チーム医療の講義に留まらず、看護の将来ビジョンについての提言もあり、私達看護師がすべきことは何かについて考える良い機会となった。		



看護師職能委員会 I 研修（講演会）実施報告

研修（講演会）テーマ	臨床で起きる諸問題から患者の意思決定支援（協働意思決定）を考える		
主 催	看護師職能委員会 I		
講 師	荻野 美恵子氏（国際医療福祉大学 医学部医学教育統括センター 教授）		
開 催 日 時	令和元年 12 月 21 日（土）13：30～16：30		
目 的	意思決定支援を学び、臨床で活かすことができる		
内 容	講義、グループワーク		
場 所	神奈川県看護協会 第 1 研修室		
参 加 対 象	看護職	参 加 人 数	83 名 (会員 71 名・非会員 12 名)
まとめ・評価	1. アンケート回収 74 枚 回収率 100% 1) 会員 62 名 2) 非会員 12 名 2. 職種 1) 看護師 71 名 2) 准看護師 0 名 3) 保健師 2 名 4) 助産師 0 名 5) その他 1 名（医療ソーシャルワーカー） 3. 研修会を知ったきっかけ 1) 看護協会からの案内チラシ 58 名 2) 看護協会ホームページ 1 名 3) 友人、知人からの情報 6 名 4) その他 9 名（上司の勧め） 4. 参加動機 1) 自らすすんで 55 名 2) 上司の勧め 13 名 3) 同僚の勧め 5 名 4) その他 1 名（友人・知人の勧め） 5. 感想 1) 非常に良かった 60 名 2) 良かった 10 名 3) 普通 0 名 4) やや期待はずれ 0 名 5) 期待外れ 0 名 無回答 4 名 6. アンケート内容 ・いろいろな考え方があり、だからこそそのようなときにどう考えたらいいか学ぶきっかけとなりました。考えることだけではなく、まず自分の身内から話していきたいと思います。ただ意思を聞くだけでなく、正しい情報提供をしなくては正しい意思決定にはならないことを学びました。 ・患者・家族の意思決定は揺れ動くものであることを認識しました。常に患者・家族とのコミュニケーションを図り、思いや考えに寄り添い支援をしたいと思いました。 7. 評価 ・グループワークを含んだ研修だった為、会場が狭かった。 ・異なる施設同士の意見交換が活発に行われアンケートの結果からも満足度の高い研修だった。 ・受講生から「スライドは 4 つ（1 ページ）で印刷してほしい」との要望があり事前に講師と打ち合わせが必要。 		

看護師職能委員会 I 研修（講演会）実施報告

研修（講演会）テーマ	地域包括ケアシステムと看護職～病気になっても、障害があっても、住み慣れた地域で暮らす人々を支える仕組みを考える～		
主 催	保健師職能委員会・看護師職能委員会 I		
講 師	足立原 崇氏（神奈川県健康医療局保健医療部医療課長）		
開 催 日 時	令和 2 年 1 月 30 日（木）13：30～16：30		
目 的	神奈川県の保健医療計画と地域医療構想について学び、地域包括ケアシステムと看護職の役割について考える		
内 容	講義、グループワーク		
場 所	神奈川県ナースセンター研修室		
参 加 対 象	看護職	参 加 人 数	91 名（会員 80 名・非会員 11 名）
まとめ・評価	1. アンケート回収 87 枚 回収率 96% 1) 会員 73 名 2) 非会員 11 名 3) 無回答 3 名 2. 職種 1) 看護師 70 名 2) 保健師 12 名 3) 助産師 0 名 4) その他 2 名 3. 研修会を知ったきっかけ 1) 看護協会からの案内チラシ 50 名 2) 上司の勧め 30 名 3) 看護協会ホームページ 4 名 4) その他 1 名 4. 感想 「内容は有意義だったか」 1) 有意義だった 70 名 2) どちらともいえない 8 名 3) 物足りない 2 名 「今後の職務に役立つものだったか」 1) 役立つ 70 名 2) どちらともいえない 15 名 3) 役に立たない 0 名 4) その他 2 名 5. アンケート内容 ・保健師職能と看護師職能の連携での研修はとても良いと感じた。 ・看護師・保健師で違った視点から発言があり新鮮だった。 ・グループワークの中で地域連携の現状・連携の必要性を再認識することができた。 ・保健師・看護師合同の研修は今後も定期的開催してほしいと感じた。 ・地域内での他の医療機関とのかかわりの在り方を学ぶことができ、勉強になった。 ・様々な職種が手を取り合うためにはお互いを知ること、関心を持っていくことの大切さ、コミュニケーションの大切さを学んだ。 ・グループワークはあまり意味を感じなかった。もっと講義を聞きたかった。 6. 評価 ・講義内容は神奈川県の医療計画や、医療構想を理解できたとの意見が多く、アンケート結果では研修の満足度は高かった。 ・グループワークを含む研修であり、募集人員を 100 名と絞った結果、保健師・看護師の参加者に偏りがあった。		

